

風水害・地震等に対する登下校対応マニュアル

要保存

横浜市立山内小学校

令和3年4月版

	状況	学校・家庭の対応	メール配信等
登 校 前	ア 朝6時の段階で 「暴風警報」「大雪警報」 「暴風雪警報」「特別警報」 「火山噴火降灰予報」	学校・家庭の対応 市立学校一斉 臨時休校 ○メール等を待たず家庭が警報で判断する。	○補足的に、メール配信・学校HPに掲載する場合もある。
	イ 上記警報はないが「強風、大雨、大雪」等で登校が危険と各家庭で判断。	通常授業 ○家庭で「危険」と判断した場合は、登校を見合わせる。 ○学校判断で登校時刻繰り下げ等の場合もある。	○登校時刻繰り下げの場合はメール配信。
	ウ 大地震発生 横浜市域の一箇所でも 震度5強以上を観測	当日と翌日は全市一斉 臨時休校 ○被害が少ないなど、学校が判断すれば、 授業実施 の場合もある。	○実施の場合、メール配信、学校HPで発信する。
	エ 南海トラフ地震に関する臨時情報	教育委員会から「全市臨時休校」の指示があれば 臨時休校	○実施の場合、メール配信、学区HPで発信する。
	オ Jアラート(全国瞬時警報システム)で神奈川県を含む。	警報が出ている間、 登校見合わせ ○警報解除後、登校。	○警報が解除されたと判断した場合メール配信。
登 校 後	カ 登校後天候が悪化 「暴風警報」「大雪警報」 「暴風雪警報」「特別警報」 「火山噴火降灰予報」等発表。	学校預かり・引き渡し ○状況によっては、職員見守り体制での下校。 ○天候等が回復すれば、通常下校・時刻繰り下げ下校等とする場合もある。 ○引き渡しは「保護者」または登録されている「代理人」に限る。 ○保護者・代理人に引き渡すまで、児童は学校で管理する。	○状況を総合的に判断し、メール配信、学校HPにて、対応を伝達。 ○対応の変更も逐次、伝達するように努める。
	キ 地震発生(震度5弱以下) 児童を帰宅させることが危険と判断した場合		※宿泊体験・校外学習中の場合 ○原則行事活動を一時中止し安全確保 ○状況により続行、帰校または現場待機等を判断 ○対応はメール配信で伝達
	ク 南海トラフ地震に関する「臨時情報」が発表。		
	ケ Jアラート(全国瞬時警報システム)で神奈川県を含む。		
	コ その他重大な事件・事故、警報に至らない悪天候等の発生。		
サ 大地震発生 横浜市域の一箇所でも 震度5強以上の地震を観測。	学校預かり・引き渡し ○学校からの連絡がなくとも引き取りに参集。	○メール配信、ホームページなどで情報発信に努める。 ※宿泊・校外学習中の対応は上記に準じる	

※悪天候の場合、家庭の判断で休んだり遅れたりする場合、欠席、遅刻とはしませんが、学校に連絡してください。
 ※「警報」は、地上波デジタル放送の「データ連動画面」や「防災・気象サイト」等で確認し、判断してください。
 ※メール配信、HP更新は状況によってできない場合が想定されます。学校からの情報発信ができない場合でもこのマニュアルに従って児童の安全確保に努めますので、冷静な対応をお願いします。
 ※緊急時の電話連絡はご遠慮ください。